

- 2021年4月23日(金) 快晴
- メンバー 斉藤 整紀(単独)
- コースタイム

大倉バス停 9:00→堀山の家 11:00→花立山荘  
12:00~20→塔ノ岳 13:00~20→16:20 大倉バス  
停

本格的な山行は、前回はいつだったろうか？  
今年の三浦海岸や三浦アルプス程度でも、今ではきつく感じられるため、試しに少し本格的な山にチャレンジすることにした。

安全な山で、データのある丹沢・塔ノ岳、大倉尾根コースで試す。標高差 1200m、歩程 7km、昭文社のコースタイムは、上り 3 時間 20 分、下り 2 時 20 分、計 5 時間 40 分。私のベストタイムは、上り 3 時間弱、下り 2 時間弱で、計 4 時間 50 分である。今日の目標は、6 時間で、とにかく無事に完登すること！

金曜休み、チャレンジ。大倉尾根は、バカ尾根と云われるように愚直なコースである。渋沢駅からのバスは、席が丁度埋まる程度で、計画受付には、蛭対策の塩も用意されているが、まだ不要。暫く、舗道の急登の後、山道に入るが、百名山へ繋がる山径のこと、頗る快適で、楓や桜並木も新緑で心地が良い。ウィークデー山行は、たまに追い抜く者もあるが、のんびりとマイペースである。時折、左側、木の間から富士山が覗かれる。



しかし、堀山ノ家に着いたのが 11 時で、足は重く、ローペース。更に、展望が開けた白亜の花立

山荘に着いたのが 12 時で、塔ノ岳山頂に居るべき時間である。ここまでの山小屋は全て休業。最近の不節制、運動不足を悔いたが、現実は現実、あせらず、ここはおにぎりを頬張り、上へ進む。相変わらず、富嶽は美しい！



やがて塔ノ岳山頂が望まれ、鍋割コースとの分岐に差し掛かり、金冷やしに至る。長い板の階段の先に見慣れた塔ノ岳山頂が待つ。結構、人がいる。広く開かれた谷底の先に続く山並みの彼方に神々しい富嶽が輝く。大分蒸気が上がって、ぼやけてきた。右手に大菩薩が控え、その先に南アルプスの白峰が連なる。赤石岳、北岳、甲斐駒。



足は限界を超え、下山も時折、脚攀りの薬も。木道や階段はまだしも、荒れた石ころの径は時間をかけて慎重に進む。途中、名物強力の赤ふんオジサンに会った。営業中の尊仏山荘への荷揚げであろう。東側のトラバース路は夕刻、暗く、寂しい気分になった頃、ようやく、村に着いた。既に 16 時を回り、出発から 7 時間以上経過したことになる。目安の 6 時間も遠く及ばない。これが老いということか！ 今後は、余裕を持った計画が必要になることを痛感した。(了)